

は
ち
ち
み

http://hacchi.jp



vol.18

このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…
「はっち」が贈る、おいしい情報。

はっち市～はっちがちっちゃな街になる～
「ものづくり」文化が息づく八戸

海と生きる街の魅力
はっち魚ラボ、酔っ払いに愛を、ハチノヘものがたり、はちのへごっこ

夜の街を光で彩る
八戸ライトショー・フェスティバル2014



hacchi event programs イベント情報

「はっち市 2014」開催に伴い、臨時休館および開館時間の変更があります。詳しくは 3 ページをご覧ください。
年末年始に伴い、12月30日(火)・1月2日(金)・3日(土)の開館時間は10:00～18:00 となります。

＊ ■ 酔っ払いに愛を ～横丁オンラインユーシアター～

10月2日(木)～4日(土) 17:00～21:00
八戸のレトロな横丁や小路を舞台に、ダンスや演劇などのパフォーマンスを繰り広げる。

■ 縄文遺跡郡世界遺産登録推進フォーラム

10月23日(木)・24日(金) 10:30～17:00
※24日は14:00 まで
「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する県内縄文遺跡の出土品展示と専門職員による解説を行う。
会場：2 階 シアター 2
問合せ：青森県教育庁文化財保護課 017-734-9922

■ 奥入瀬の四季 油絵展

11月1日(土)～4日(火)
9:00～19:30 ※初日 10:30 から最終日は19:00 まで
会場：2 階 ギャラリー 2 問合せ：川村 0178-25-4842

＊ ■ はっち市 2014 ～はっちがちっちゃな街になる～

11月22日(土)～24日(月・休)
22日(土)12:00～20:00 23日(日)・24日(月・休)10:00～18:00
街中でやるクラフト市。音楽やおいしいフードも楽しめる。

＊ ■ はっちのクリスマス

11月29日(土)～12月25日(木)
コンサートや展示のほか、イルミネーションなどクリスマスを彩るさまざまなイベントを開催。

＊ ■ はっちがずっぱど南部弁

12月6日(土)
南部弁を愛し、語り継いだ八戸市郷土史家 正部家種康さんの命日に、南部弁の魅力を「バラエティーシアター」としてご紹介。

＊ ■ 八戸ライトショー・フェスティバル 2014

12月19日(金)～21日(日)
八戸の街中が光の魔法に包まれる3日間。市民参加企画や公募企画など、さまざまな光のパフォーマンス。

■ 第1回教育の広場 in はちのへ
～小・中学校の「今」を紹介します！～

12月26日(金)・27日(土) 26日 13:00～17:00
27日 9:00～16:00
学校紹介や職場体験報告から教育講演会、学校図書館ブックリサイクルフェアまで、八戸市の「地域密着型教育」等の取り組みを紹介。
問合せ：八戸市教育指導課 0178-43-9519

＊ ■ ストリート投げ銭ライブ in はっち

10月8日(水)・22日(水)
11月5日(水)・19日(水)
12月3日(水)・17日(水)
1 階 はっちひろば 開場 19:00～

＊ ■ ものスタブチフェスティバル

10月11日(土)・12月13日(土) ※11月は開催しません。
ものづくり体験、この日限定のオリジナルフードを提供。

＊ ■ モヨツテ参道の日 ～中心街におしゃれして出かけよう～

10月18日(土)・19日(日)
11月15日(土)・16日(日)
12月20日(土)・21日(日)

＊ ■ 和日カフェ ～日本文化に親しむ日～

10月19日(日)・11月16日(日)・12月21日(日)
いけばな体験、お茶席など。

＊が付いているイベントは、はっちの自主事業です。

information 市内施設情報

八戸市美術館

■ コレクション展II
「素材の造形美」

10月26日(日) まで

当館所蔵の作品から、黒田辰秋とその弟子・藤奇一政、飯塚小軒齋など、自然素材の特徴を生かしながら、生み出す木工、竹工の造形美を紹介します。

🕒 9:00～17:00 (受付は16:30 まで)
🗓 9月29日・10月14日・20日
☎ 0178-45-8338
📍 <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/>



黒田辰秋 《拭漆櫛文机》

八戸市博物館

■ 特別展 「幕末明治の浮世絵探訪展」
～幕末の歴史絵から明治の開化絵まで～

9月27日(土)～11月3日(月・祝)

幕末から明治の浮世絵は、ユーモアたっぷりで情報満載です。大画面に迫力満点に描かれた浮世絵をお楽しみください。



とうきょうめいしよのうち せんざとせりれんがづくりてつどうばし 東京名所之内 銀座通煉瓦造鉄道馬車 往復図 三代歌川広重 1882 (明治15) 年

🕒 9:00～17:00 (入館は16:30 まで)
🗓 9月29日・10月14日・20日・27日
☎ 0178-44-8111
📍 <http://www.hachinohe.ed.jp/haku/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

■ 企画展
「海と火山と縄文人」

10月11日(土)～11月24日(月・休)

縄文時代の前半、縄文海進や火山活動といった大きな環境変動を、縄文人はどう乗り越えたのか。2011年から2013年にかけて実施した、東京大学との共同研究成果を紹介します。



ボーリングによる地質調査の様子

🕒 9:00～17:00 (受付は16:30 まで)
🗓 10月14日・20日・27日・11月4日・10日・17日
☎ 0178-38-9511
📍 <http://www.korekawa-jomon.jp/>

hacchi news はっちニュース

八戸のリアルタイムな情報を発信します !!

今年の7月、はっちでは、八戸市内の観光地や魅力的な場所取材し、その紹介を行う市民を「はっち特派員」として認定しました。

はっち特派員は、自らの手で集めた市内各地のディープで面白い情報、旬な情報などをはっち館内やブログ、HPで紹介しています。

集められた情報は、随時更新していくので、ぜひ「はっち特派員ブログ」をご覧ください。
📍 <http://tokuhainn8.exblog.jp/>



はっちスペシャル特派員に認定された4名

〈はっち情報発信中!!〉

📘 <https://www.facebook.com/hacchi8>

🐦 https://twitter.com/hacchi_staff

📱 iPhone 無料アプリ i8nohe(あい・はちのへ)

その他、各社新聞、コミュニティラジオ BeFM でも情報発信中です。

streets event まちなか情報

■ 「(仮) マチニワ」活用アイディアコンペ発表会

八戸市では、はっち向かいに、街に来ることが楽しみになり、さまざまな世代が交流できる都市空間「(仮) マチニワ」の整備を予定しています。

市民に愛される場所「(仮) マチニワ」の活用方法やその機能について、8月より募集していたアイディアの中から公開プレゼンにより各賞の選考を行います。



8月に開催した「マチの魅力再発見まち歩き! & アイディアコンペ説明会」でのアイディア出しの様子

🗓 10月11日(土) 13:00～
📍 1階 はっちひろば
☎ 0178-43-9425 (八戸市まちづくり文化推進室)
📍 <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/9,67754,18.html>

八戸ポータルミュージアム「はっち」は地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動をサポートする多様な設備を備えています。

八戸ポータルミュージアムはっち <http://hacchi.jp>
TEL 0178-22-8228 FAX 0178-22-8808

〒031-0032 青森県八戸市三日町 11-1
開館時間 / 9:00～21:00 ※こどもはっち開館時間 9:30～16:30
休館日 / 毎月第2火曜日、12月31日及び1月1日

はっちリレーションナルプレス 「はちみつ」vol.18
発行：八戸市 まちづくり文化スポーツ観光部 八戸ポータルミュージアム 発行月：平成26年9月
表紙協力：濱道 幸子 はまみち ゆきこ

【交通のご案内】
バス / 八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き[約25分]
八戸中心街ターミナル(三日町)下車すぐ
JR / 八戸駅からJR八戸線八戸駅下車[徒歩約11分]
車 / 八戸駅から車で[約15分]
※一般来館者の駐車場はございません。
お近くの有料駐車場をご利用ください。





■組子 くみこ
くぎを使わずに木を組んで、幾何学模様をつくる「組子」の技法は、飛鳥時代から受け継がれてきた。その模様は八重桜やユリ、梅など 200 種類以上にのぼる。建具職人の清水正さんによる「組子」の額縁作品が、今年 4 月、バリの美術展に出展された。日本の伝統木工技術と西洋の現代アートの融合から生まれた作品展は、日本の伝統技術に新たな可能性を導き出した。

【制作】清水 正



■南部姫毬 なんぷひめまり
色鮮やかな模様と愛らしい房がざりが特徴で、遠く平安時代の手法を現代に伝える伝統的な手毬として、全国的にも高い評価を得ている南部地方の郷土玩具。邪気を払い、福寿開運を求める人々の身代わりとなるお守りとして、五節句の幸せを祈願するものでもある。昭和 30 年頃にその姿を消しかけたが、松川利蘭さんが伝統を守り繋ぎ、現在は奥様の千子さんが制作している。

【制作】松川 千子

「ものづくり」文化が息づく八戸
八戸市は、中心街に朔日町、三日町、六日町、八日町……、市日にちなんだ町名が現在も残るほど「市」と関わりが深い街です。物の売買だけでなく、あたたかい気持ちのやりとりも「市」の魅力です。
自然に恵まれ、歴史と伝統に培われた八戸市。南部裂織、南部菱刺など守り継がれてきた伝統工芸や産業といった「生業」の中に含まれる「ものづくり」の精神は、まざれもなく八戸という街を物語っています。



1、nu:um 【北海道：皮革加工】 2、obo glass + 3473 【神奈川県：ガラス】 3、クラフト 5 つの銅貨 【山梨県：木工】
4、デザイン工房 エッセ 【神奈川県：金属】 5、吉岡屋本舗 【愛知県：その他】 6、工房 polepole 【青森県：陶磁器】
7、maru 【青森県：布】

北は北海道、南は宮崎から 全国から作家が集まるクラフト市

はっち市 2014 ～はっちがちっちな街になる～

11月22日(土) 12:00～20:00
23日(日)・24日(月・休) 10:00～18:00

2011 年の開館以来、毎年恒例となっている「はっち市」は、「はっちがちっちな街になる」をコンセプトに、はっち館内を街に見立てて開催するクラフト市です。

当日は、クラフトやフードの販売のほか、ライブ&トークイベントなどもあります。また、子どもが楽しめるコーナーも用意しておりますので、ご家族でお楽しみいただけます。

ショッピングから音楽まで幅広く楽しめる「はっちの街」をじっくり散策してください。

【はっち市開催に伴う、開館時間の変更について】

20 日(木) 9:00～17:00
21 日(金) 臨時休館日
22 日(土) 12:00～20:00
23 日(日)・24 日(月・休) 10:00～18:00
25 日(火) 臨時休館日

東北のもののづくりの魅力とは何か。
東北には、厳しい環境の中で生まれ、時代の波に動じる事なく、数百年伝わり続けたものづくりがある。
工夫や知恵、想いを受け継ぎ、伝統技術を深めながら進化させ、伝えていく人々がいる。
この土地ならではの生き方がそこにある。
八幡馬の職人は、数百年前から赤と黒の馬の玩具を作り続け、人々の幸せを祈る。
裂織の職人は、江戸時代から変わらぬ手織機で布を織り、その美しさは永遠に続く。
この「変わらなさ」こそが東北の魅力であり、「東北のもののづくり」の魅力ではないか。
作品に滲み出る職人の生き様から、この土地で「より良く生きる」というのはどういう事なのか考えさせられる。
「豊かな暮らし方」の定義が改めて問われる今、我々が彼・彼女らから学ぶべき時が来た。
先の見えない「変化」の時代だからこそ、生きる指標として求められる一つの価値観。
「変わらなさ」
幸いな事に、それは、私の街にある。
きっとあなたの街にも。

はっち市の魅力ポイント



ちびっこアートひろば

ダンボールの木や壁に子どもの豊かな感性で描くことができる大人気の「ちびっこアートひろば」が今年も登場!! ※入場無料



ライブ&トーク

館内に、フードブースが出現。イベント期間限定のスペシャル料理やスイーツのほか、八戸の B 級グルメ「八戸せんべい汁」も食べられます。



展示コーナー

「えっ! これがお金! ?」今年のテーマは「アフリカの原始貨幣」。古代にタイムスリップしましょう。23 日にはギャラリートークもあります。



ライブ&トーク

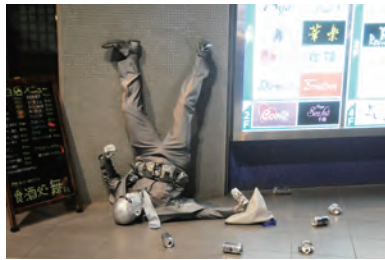
今年のテーマ「宇宙と経済」を学び舎でわかりやすく解説。23 日にはサカキマンゴのライブもあります。
入場料：前売 1,500 円 (当日 2,000 円)

文/金入 健雄 かねいり たけお (1980～)

青森県八戸市生まれ。株式会社金入代表取締役社長、東北スタンダード株式会社代表。八戸ポータルミュージアム、せんだいメディアテークにてカネイリミュージアムショップを運営。東北の伝統工芸品・クリエイターの作品に注目し、その価値を伝える商品展開が全国的に注目を集めている。

写真/八幡馬 やわたうま (制作/ 青森県伝統工芸士 大久保 直次郎 おおくぼ なおじろう)

宮城県仙台市の木ノ下駒、福島県郡山市の三春駒と並び日本三駒とされ、江戸時代から八戸市に伝わる郷土玩具。櫛引八幡宮で参詣者の土産品として売られていた。現在では、福を呼ぶ馬としてお祝い事の記念品として浸透している。



ダンス・演劇・芝居…横丁が劇場になる夜
酔っ払いに愛を〜横丁オンリーユシアター〜
【日 時】10月2日(木)〜4日(土)
【会 場】八戸市中心街・横丁
【チケット】1,500円(1ドリンク付き)
※はっちインフォメーションにて販売
【出演アーティスト】※敬称略、順不同
青藤栄治 (コンテンポラリーダンス) / 十日市秀悦 (芝居) / 小笠原雅・黒田暁 (クラシックバレエ 演出: 辻真弓) / un-pa (ローピングバフォーマンス) / かえるP (コンテンポラリーダンス) / 金子愛帆 (コンテンポラリーダンス) / MISAWA International Traveling Show (バントマイム) / 高橋和誠 (コンテンポラリーダンス) / 嶋崎綾乃・佐貫巧 (コンテンポラリーダンス) / 後藤かおり+安斉研究所 (コンテンポラリーダンス) / 演劇系、女子。(芝居) / 田端春花・岡安夏音子 (コンテンポラリーダンス)

「酔っ払いに愛を」月間！
10月は横丁で遊びましょう！
八戸は昔から横丁文化が根付いた街で、隣に座った人と初対面でもすぐに打ち解けられる雰囲気などの店にもあり、市民や観光客に親しまれています。
中心街には昭和情緒ただよう8つの横丁が残っており、八戸の郷土料理や、イカやサバなど新鮮な魚介類を使った八戸の食や地酒を堪能できます。
人情味あふれる八戸の横丁ならではの「出会い」。肴をつまみ、酒に酔い、仲間との会話が花が咲く…。肴さあ、あなたも「酔っ払いに愛を」さげましょう。

【酔っ払いに愛を 月間イベント情報】
■オープニング 日本全国地酒で乾杯！10月1日(水)
■横丁で見つけるあなただけの隠れ家
10月9日(木)・16日(木)・23日(木)
■第16回横丁連合飲みだおれラリー 10月15日(水)
■八戸屋台村 みろく横丁 ロールケーキデコレーション大会
10月26日(日)※雨天決行
■八戸バルウィーク
10月28日(火)〜11月6日(木)
「酔っ払いに愛を」公式サイト <http://yopparai8.jp>



はっち魚ラボで活躍する魚食ガールズが作成した目玉看板。

はっち魚ラボで活躍する魚食ガールズが作成した目玉看板。8月11日、はっち魚食ガールズ14人が制作した40枚の目玉のようないろんな形の看板を、八戸市営魚菜小売市場のみなさんに贈呈しました。
屋号や店主の好きなもの、自慢の商品をデザインした手作り看板に歓声があがりました。
さっそく売場に飾られた看板には、それぞれの店で取材したエピソードやデザインについての解説も付いています。ぜひ魚菜小売市場で、はっち魚食ガールズの目玉看板をご覧ください。
看板でそれぞれの店イチオシの商品を知り、何度も通っていただきたい！それが、魚食ガールズたちの願いです。



【制作】宮崎真希 【制作】米久 春菜
カジキマグロが専門の南山商店(左)と、イカとサバがイチオシの佐々木商店(右)の看板。

真剣なまなざしで看板制作に取り組む魚食ガールズ。



8月3日に開催したイカさばきワークショップ

みんなで魚食の魅力を発見する
はっちフィッシングも
毎月楽しい企画を開催しています！

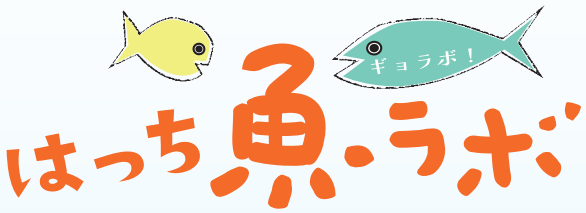


はっち魚ラボや八戸の海や魚についてわかりやすく解説している「魚ラボード」。祝い魚のキンキをイメージした赤色が目印です!! 最新情報はここからチェック☆
はっち魚ラボ web サイト
<http://hacchi.jp/programs2/gyolabo/>
Facebook「はっちフィッシング」で検索！



写真家 田附勝さんによる写真プロジェクト「写ギョッ」の取材撮影。漁師さんや海で暮らす人々を取材・撮影しています。
今後も 1月の展覧会まで、さまざまな視点から八戸の海と魚文化を切り取っていきます。お楽しみに！

田附勝写真展
はっち魚ラボアーカイブ展
2015年1月24日(土)〜2月22日(日)
1階 ギャラリー1、シアター1



水産の街 八戸だからこそ知っておきたいことがある！

八戸の魚文化を楽しみながら掘り下げるプロジェクト「はっち魚ラボ」。
海と生きる街ならではの暮らしや哲学、美味しい魚の食べ方などを、講座、ワークショップ、アート作品を通して再発見！みなさまのご参加お待ちしております！



制作した目玉看板を各店舗の方に贈呈。写真はサケがおすすめの天満美知子さん(右)と制作者の宮崎祐希さん(左)。



上) サバチームはサバの流線形の泳ぎの美しさを表現。
右) 講師の白井さんのもと、イカとサバにチーム分けをした。



10月4日の本番を目指して、八戸ならではの魚ケチャを作っていきます！
イカチームとサバチームに分かれ、イカチームは元氣よく泳ぎ回るイカの特徴的な泳ぎを再現し、サバチームはキラキラと泳ぐサバの美しさを表現しました。
インドネシアのバリ島に伝わり、4つのパートに分かれてリズムを口で唱える独特な形式の音楽「ケチャ」。
はっち魚ラボでは、8月11日、八戸名物ナンパーワンをめぐるイカとサバの戦いを「ケチャ」で表現するワークショップを開催し、28人が「ケチャ」の世界に足を踏み入れました。講師はおいらせ町在住の音楽家白井啓之さんです。
伊カチームとサバチームに分かれ、イカチームは元氣よく泳ぎ回るイカの特徴的な泳ぎを再現し、サバチームはキラキラと泳ぐサバの美しさを表現しました。

築地に魚食ガールズデビュー！

11月2日(日)に築地市場で開催される「鍋グランプリ」に、はっち魚食ガールズが開発した「八戸イカサバ鍋」を出品します!!
今後の情報は「はっち魚ラボ web サイト」やFacebookにてお知らせします。
協力：(株)金剛



アートプロジェクト
湊に暮らすハマネコとカブの物語
「はちのへごっこ」 by 大島亜佐子

はっちでは、NHK「みんなのうた」の作品も手がけた映像作家の大島亜佐子さんによる映像プロジェクト「はちのへごっこ」を制作中。ハマネコとカブ、2人の八戸での日常を描くアニメ作品です。

主題歌はミュージシャンの坂本サトルさん、劇中料理は「ピストロポ・デタン」シェフの三浦祐紀さん、声優は慶長侑真君と増尾桃佳さんほか、たくさんの市民が参加。

10月下旬には、完成映像をYouTubeを通して全国に配信予定！お楽しみに。



大島亜佐子 おおしま あさこ
布アート作家／映像作家。
NHK みんなのうた「ウメボシジンセイ」の作詞・映像演出で映像作家デビュー。刺繍や布を素材とした映像やアート作品など多方面で活躍。
<http://migoto-co.com/>

坂本サトル さかもと さとる
1967年青森県南部町出身。
1992年、JIGGER'S SONのボーカル&ギターとしてデビュー。1999年よりソロ活動開始。リリース、ライブ、ラジオDJなど多数。
<http://www.sakamotosatoru.com>



八戸市営魚菜小売市場で働く方々の、梅干や八助を食べていたに酸っぱい顔を撮影した映像作品。「うめぼし／八助ポートレート」
Umeboshi / Hachisuke portrait



SAMA・YAMAの2人による八戸市営魚菜小売市場での取材風景。

【YouTubeで映像を検索!!】
YouTubeのサイトで「ハチノヘもの」がたり」と検索すると作品をご覧ください。



八戸市営魚菜小売市場で働く方々への聞き取りを元に制作した映像作品。「ハチノヘものがたり 魚菜市場」Mutsuminato fish market

アートプロジェクト
オランダ暮らしの2人が映像化する八戸の海と人との物語
「ハチノヘものがたり」 by SAMA・YAMA

映像に描かれた陸奥湊の宝物
人とのつながり
今年の6〜7月に八戸で滞在制作を行った「SAMA・YAMA (サム・ヤマ)」。2人は約1か月間、八戸市営魚菜小売市場にアトリエを構えて、市場で働く人々の親密さや生き方を、映像作品「ハチノヘものがたり 魚菜市場」の中に表現しました。短い映像の中に市場の歴史や人間関係が垣間見えてきます。
同時制作の「うめぼし／八助ポートレート」は、八戸の方々に酸っぱい梅干や八助(八戸地方の杏漬け)を食べていただき、その表情を撮影した作品。「陸奥湊下駄屋さん」は、陸奥湊で70年以上靴屋を営む金田勇治さん的一天を追った作品です。ぜひ3作品ともご覧ください。



SAMA・YAMA サマ・ヤマ
オランダ在住のあべさやかとマヌス・スウィーニーによるアートユニット。訪れる土地に伝わる民話や言い伝えなどを聞き取りながら、その土地の素顔を探り、作品制作を行う。

高校生ドリームキャンパス おもちゃプロジェクト

こどもはっちでは現在、高校生によるおもちゃ製作プロジェクトを行っています。

はっち4階の「おもちゃハウスくれよん」とは、隣の「まちなかチャレンジショップ」でより「内のおもちゃハウスくーびー」で販売している、八戸の郷土玩具「八幡馬」をモチーフとした「小馬ちゃん（こまちゃん）」などのおもちゃを、高校生と一緒に製作販売し、その収益金で、今後生まれてくる赤ちゃんにおもちゃを贈るプロジェクトです。

この活動は定期的に開催しています。詳しい内容についてはこどもはっちまでお問い合わせください。



八幡馬をモチーフに作られた小馬ちゃん

こどもはっち kodomo hacchi

親子の触れ合い空間

明るい日差しが降り注ぐ場内は、県産材を使用したぬくもりあふれる空間。遊具やおもちゃは世界中から厳選されたものばかり。

ママ友づくりのきっかけにも最適です。

ふらりと立ち寄って、親子の時間を満喫してみたいいかがですか？

10～12月のイベント情報

じゃんぼのりまき作り 10月5日(日)10:30～12:00 1階 はっちひろば	こどもはっちハロウィンパーティー 10月12日(日)10:30～12:00 1階 はっちひろば 園 就学前の親子 60組 ¥1人100円 ※10月5日(日)締切
はっち市特別企画！こども商店街！ 11月22日(土)～24日(月・休)9:30～18:00 ※22日のみ 12:00～18:00	こどもはっちクリスマス会 12月23日(火・祝)10:30～12:00 1階 はっちひろば 園 就学前の親子 50組

※詳細はこどもはっちまでお問い合わせください。



貸出施設紹介
Part2 八庵 - はちあん -

10畳の和の空間。展示が可能な棚や掘こたつの座卓を備えています。

32畳の和室・和のスタジオと組み合わせた使用も可能で、句会や会議、ワークショップなどにご利用いただけます。

※備品等の使用には別途使用料がかかります。

また、入場料等や営業・販売がある場合は施設使用料が変わります。

【使用料の一例】

■俳句教室 9:00～12:00
[入場料等無料の場合]
施設使用料 610円
ポット使用料 120円 合計 730円

■いけばな教室 13:00～17:00
[材料費 800円の場合]
施設使用料 790円



和の空間に映える書道作品

地元紙「デーリー東北」の文芸欄で月に1度掲載され、短歌、俳句、川柳、詩の4ジャンルから選ばれる最優秀作品。

八庵では、八戸市在住の書道家・杉本敦子さんが、それらの作品を独自の視点から描いた色紙を展示しています。

はっちのライブラリ

本に触れる、本を楽しむ

あなたのお気に入りほどの空間？

はっちでは、2階から4階にライブラリを設け、八戸市ゆかりの方々のオススメ本、市内の書店ではなかなか購入できない書籍などを多数そろえています。

書籍の貸し出しは行っていないですが、館内では自由に読むことができますので、はっち見学の際のひと休みや待ち合わせ時にお気に入りの一冊を探してみてください。

2階「私の本棚」

2階では、「私の本棚」として、各界で活躍している八戸市ゆかりの方々のオススメ本を紹介しています。

3階「八戸ゆかりの人物」

3階では、八戸市出身の芥川賞作家三浦哲郎さんや詩人村次郎さんなど八戸ゆかりの作家の作品を展示。また、八戸市は、俳句大会や小中学校での活動など、幅広い年齢層が俳句に親しみ、「俳句の街」として全国的に知られており、俳句や短歌の関連書籍もそろえています。

4階「多種多様なジャンル」

4階では、写真集やファッションなどアート系の書籍から、デザインや舞台芸術、八戸市出身の漫画家の作品までさまざまなジャンルの書籍・雑誌をそろえています。

参加者募集中



LED ランプで自分だけの7色に変わるクリスマスツリーを作ろう！

クリスマスツリーの形をしたあんどんに光を灯し、7色に変わる光の回廊を演出します。

組み立てたランプに色や模様を付けて、オリジナルのクリスマスツリーあんどんを作りませんか？

[制作ワークショップ日時]
11月29日(土)・12月6日(土)・7日(日)
①各日①10:00～12:00 ②13:00～15:00
③15:30～17:30

¥1,000円
園 各回12名 ※締切は各開催日の3日前まで
☎0178-22-8228
[展示期間]
12月19日(金)～21日(日) 17:00～21:00
※作品のお選はライトショー終了後の22日からとなります。

HACHINOHE LIGHT-SHOW FESTIVAL 2014

八戸ライトショー・フェスティバル 2014

12.19(金)～21(日)

八戸の夜を光の魔法で彩る「八戸ライトショー・フェスティバル 2014」。

昨年に引き続き2回目の開催となる今回は、企画数も規模もパワーアップして八戸の夜を鮮やかに彩ります。

作品制作や市民参加型企画、公募作品など、街と人々が融合する「八戸ライトショー・フェスティバル 2014」をお楽しみに！

リケジョマッピング「まちなか映像リノベーション」



リケジョ（理系女子）の目線で八戸市中心街にあるヤグラ横町の店舗を3Dプロジェクトマッピングで彩る「まちなか映像リノベーション」。8月4日～6日に東京都の女子大生3人がはっちで合宿を行いました。

今回の合宿では、制作のために三陸復興国立公園・種差海岸や、ウミネコの繁殖地の無島などを巡り、八戸三社大祭を観覧。そのほか、八戸ならではの新鮮な海産物や、八戸せんべい汁などの食文化を取材しました。

今後は12月に開催される「八戸ライトショー・フェスティバル 2014」に向けて制作作業を進めます。リケジョの手により八戸の街がどのように変わるかをこの期待。

例 IMA の方から指導を受け、実際に会場となるヤグラ横町の空き店舗の測定をしながら、合宿で撮影した写真などを撮影した。

【八戸ライトショー・フェスティバル 2014】

[特別協賛] エプソン販売株式会社 [協力] エプソンアトミックス株式会社 ほか

■巨大やわたうマッピング国際コンペティション

国内外から作品を公募し、高さ約2mの巨大八幡馬2体に独自の発想でデザインした、3Dプロジェクションマッピング作品を映し出すコンテストを開催します。

[監修] 例 IMA



小学生より大きな八幡馬

■お茶席 de プロジェクションマッピング

毎月第3日曜日に開催している「和日カフェ～日本文化に親しむ日～」とプロジェクションマッピングによって装飾された和のスタジオで、伝統文化と先進技術の融合によるお茶席を開催します。

[監修・制作] 加藤直礼 [協力] 江戸千家不白会 八戸支部

■飛び出せ！みんなの八戸！～きみの作品がプロジェクションマッピングに～

8月に開催した親子参加型のライトショー作品制作ワークショップで作成した素材を使い、はっち裏の壁面に大規模3Dプロジェクションマッピング作品を投影します。

[監修・制作] 例セロニウム

■リケジョマッピング「まちなか映像リノベーション」

リケジョの目線で、ヤグラ横町の空き店舗を3Dプロジェクトマッピングによるリノベーション企画を開催します。どのように生まれ変わるのかこの期待。

[監修] 例 IMA [制作] 東京都の女子大生のみなさん

※そのほか、たくさんの企画でクリスマスシーズンの中心街を盛り上げます。



上)親子で作品づくりに夢中!!
下)スキャナーで取り込まれる作品を興味深そうに見つめる参加者。

飛び出せ！みんなの八戸！～きみの作品がプロジェクションマッピングに～

ライトショー作品制作ワークショップ

8月9日・10日に開催した、ライトショー作品制作ワークショップでは、2つの作品作り挑戦しました。

1日目は「自分にとっての八戸を紙粘土を使ったレリーフで表現しよう!」。八戸の名物や名所など、八戸を連想できるものを紙粘土で作るというもの。観光パンフレットや資料を見ながら思い思いの作品を作り上げました。色の組み合わせを楽しんだり、立体的に見える工夫を凝らしたりと、想像力を働かせながら、親子で楽しく作品を仕上げていました。

2日目は「画面を泳ぐイカとサバ、舞い飛ぶウミネコをデザインしよう!」。八戸といえば日本一の漁獲量を誇るイカ、そしてサバ。無島はウミネコの繁殖地ということで、それらの図案にクレヨンやコラージュで色付けをしていくというもの。ぬり絵感覚で楽しめ、小さなお子様も大満足! 写真を切り貼ったコラージュで芸術性あふれる作品を完成させる参加者も。どちらの体験も、一緒に参加した保護者がハマるほど、大人も子どもも楽しめる内容でした。

今回作った作品は、12月に開催される「八戸ライトショー・フェスティバル 2014」で、3Dプロジェクションマッピング作品として生まれ変わりますので、この期待ください。